

橋梁桁出来形管理システム

Bridge Man

NETIS: QS-220036-A **NETIS**
認定

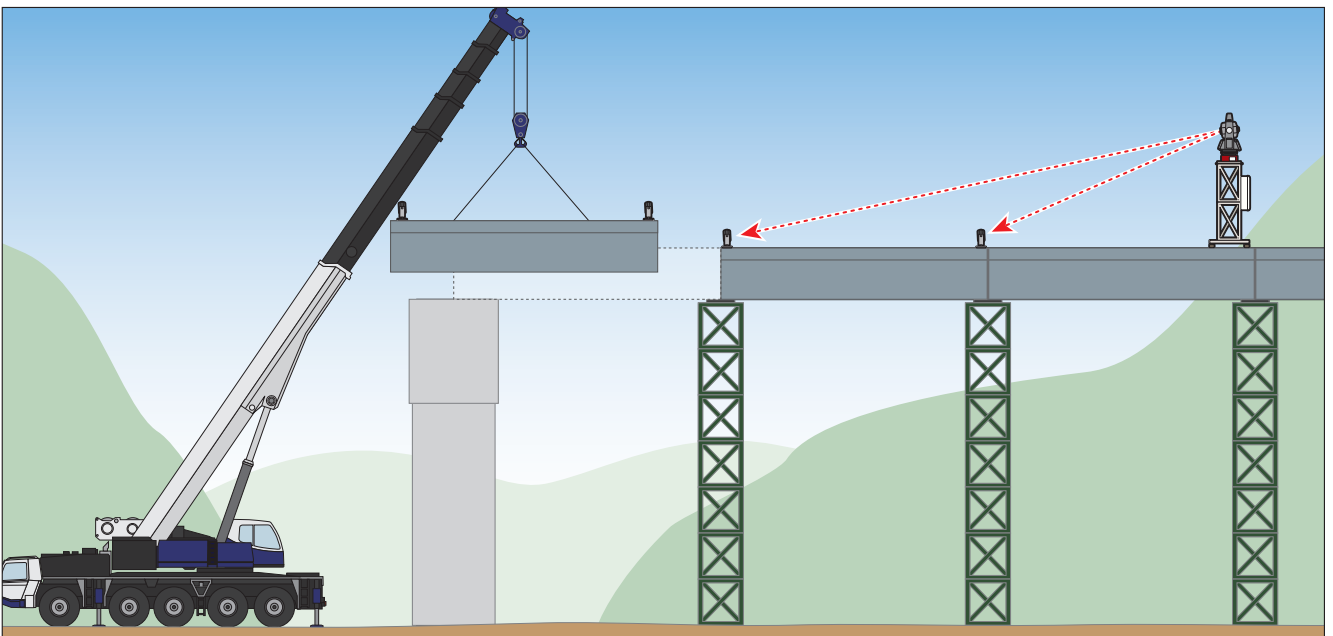
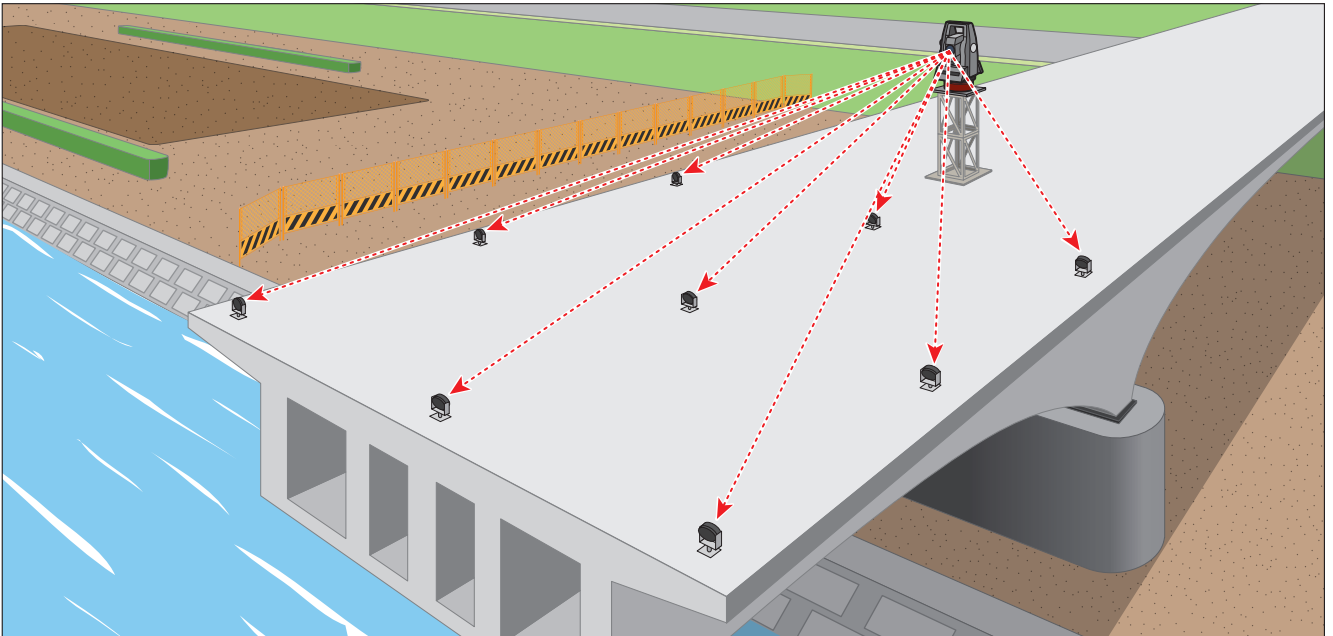
特長

本システムは橋梁架設桁の座標データを自動視準トータルステーションを用いて三次元自動計測を行い、設計値と実測値の差分を表示するシステムです。設計値と実測値の差分をリアルタイムに表示することで、施工性ならびに生産性向上に貢献します。また、カメラ搭載トータルステーションを使用することにより、工事の進捗状況も併せて管理/確認する事が出来ます。※カメラ搭載トータルステーションはオプション品です

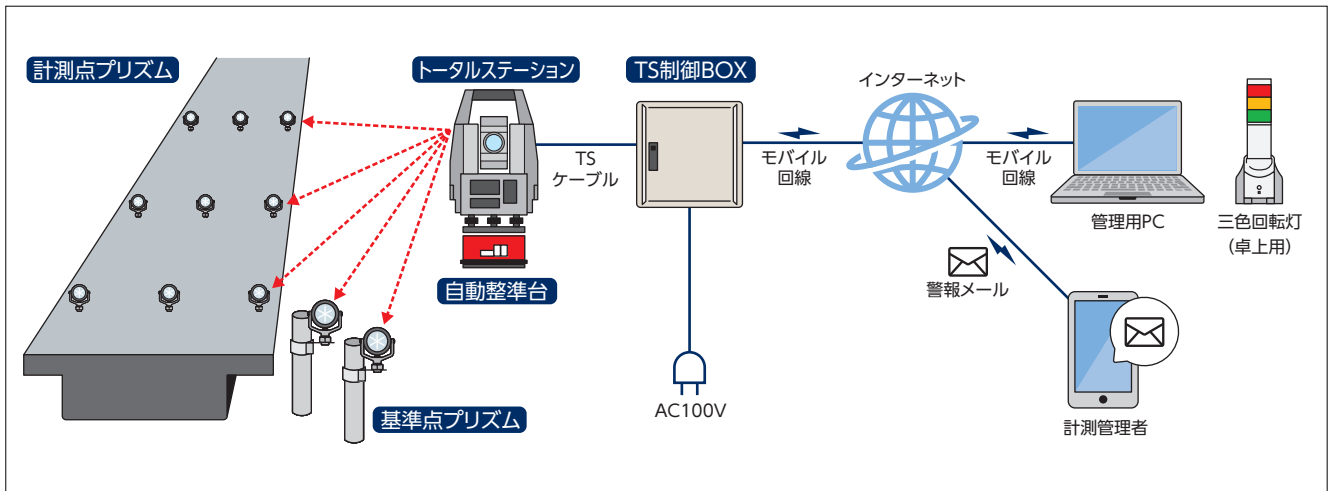
POINT

- 自動計測システムを導入することにより、観測業務の省人化に貢献
- 設計値と実測値の差分をソフト上で自動算出する為、データ整理を容易に行うことが可能

概要図



■ システム構成



■ 管理ソフト／システム施工例

管理ソフトのスクリーンショット。左側には「XYZ座標変位」のデータテーブルが表示され、右側には「計測データ表示」のグラフと「グラフ表示」のコントロールパネルが見えます。

2022年8月21日 16時30分00秒

	A-1	B-1	C-1	D-1	E-1	F-1
0.1	-0.1	-0.3	-0.1	-0.6	-0.2	
-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.4	-0.3	
0.1	0.1	0.1	-0.1	-0.5	-0.7	

	A-2	B-2	C-2	D-2	E-2	F-2
0.1	-0.1	-0.3	-0.1	-0.6	-0.2	
-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.4	-0.3	
0.1	0.1	0.1	-0.1	-0.5	-0.7	

	A-3	B-3	C-3	D-3	E-3	F-3
0.1	-0.1	-0.3	-0.1	-0.6	-0.2	
-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.4	-0.3	
0.1	0.1	0.1	-0.1	-0.5	-0.7	

実測値 単位: mm

計測データ表示: 2022年8月21日

有効22-08-21-22-30-00.CSV
 有効22-08-21-22-00-00.CSV
 有効22-08-21-21-30-00.CSV
 有効22-08-21-21-00-00.CSV
 有効22-08-21-20-30-00.CSV
 有効22-08-21-20-00-00.CSV
 有効22-08-21-19-30-00.CSV
 有効22-08-21-19-00-00.CSV
 有効22-08-21-18-30-00.CSV
 有効22-08-21-18-00-00.CSV
 有効22-08-21-17-30-00.CSV
 有効22-08-21-16-30-00.CSV

自動更新
 << < 最新(N) > >>

グラフ表示
 ポイント名を選択

期間: 2022年9月1日 から
 2022年9月1日 まで表示

時系列グラフ表示

ズーム 拡大 縮小

	A	B	C	D	E
1	A-1	プリズム			
2	初期値	105.4511	103.8914	-1.8899	6.703
3	計測日時	X変位量	Y変位量	Z変位量	斜距離変位
4	2022/7/13 0:00	-1.1	0.1	0.2	-1.3
5	2022/7/13 1:00	-0.9	0.3	0.1	-1
6	2022/7/13 2:00	-0.7	0.2	0.2	-0.5
7	2022/7/13 3:00	-1.2	-0.2	0.2	-1
8	2022/7/13 4:00	-0.9	0.2	0.3	-0.9
9	2022/7/13 5:00	-1.3	-0.2	0.3	-1.1
10	2022/7/13 6:00	-0.8	0.3	0.2	-0.6

